

ご記入についてのお願い

- ◆アンケートは、患者さんご自身についてお伺いするものです。
- ◆ご高齢、病状などにより、患者さんご本人にご記入いただくことが困難な場合は、ご家族や代理の方がご記入ください。
- ◆設問は、直接アンケート用紙に、回答して下さい。
- ◆「がん」以外の病気のことについてはご記入いただけませんのでご了承ください。

■質問の回答は、直接この調査票の該当する項目に、鉛筆またはボールペンで○印をお付け下さい。

【回答記入例】

質問 1 記入者はどなたですか【○はひとつだけ】

- ① がん患者本人
2. がん患者本人以外

★冒頭の説明を読み、この調査に参加することに同意いただけますか。

【○は一つだけ】

1. 同意します（質問 1 にお進みください）
2. 同意しません（調査は終了です。ありがとうございました）

■ 記入者について

(質問1) 記入者はどなたですか【○はひとつだけ】

1. がん患者本人
2. がん患者本人以外（ご家族や代理の方）

■ 以下は、がん患者さんご本人についてお答えください

(質問2) 患者さんの性別をお答えください。【○はひとつだけ】

1. 男性
2. 女性

(質問3) 患者さんご本人の現在の年齢は、何歳ですか。【○はひとつだけ】

1. ~19歳
2. 20~29歳
3. 30~39歳
4. 40~49歳
5. 50~59歳
6. 60~69歳
7. 70~79歳
8. 80~89歳
9. 90歳~

(質問4) 最初にがんの治療のためにかかった病院はどこですか。
【○はひとつだけ】

1. 大津赤十字病院
2. 滋賀医科大学医学部附属病院
3. 市立大津市民病院
4. 滋賀県立総合病院
5. 草津総合病院
6. 済生会滋賀県病院
7. 公立甲賀病院
8. 近江八幡市立総合医療センター
9. 東近江総合医療センター
10. 彦根市立病院
11. 市立長浜病院
12. 長浜赤十字病院
13. 高島市民病院
14. その他()

(質問5) 最初にがんの治療(または経過観察)のためにかかった病院に現在もかかっていますか。
【○はひとつだけ】

1. 同じ病院にかかっている
2. 他の病院にかかっている
3. 現在は病院にかかっていない

(質問6) がんと最初に診断されたのは、いつ頃ですか。

昭和 ・ 平成 ・ 令和 _____ 年 _____ 月頃

(質問7) 最初に何がんとして診断されましたか。【○はひとつだけ】

1. 乳がん
2. 大腸(結腸・直腸)がん
3. 胃がん
4. 肺がん
5. 肝臓がん
6. 前立腺がん
7. 子宮がん(頸がん・体がん)
8. 卵巣がん
9. 食道がん
10. すい臓がん
11. 口腔・咽頭・喉頭がん
12. 甲状腺がん
13. 悪性リンパ腫・白血病・多発性骨髄腫
14. 骨・軟部腫瘍
15. 脳腫瘍
16. 膀胱がん
17. 精巣腫瘍
18. 原発不明がん
19. その他()

(質問8) 診断された時のがんの進行度(ステージ)をお答えください。
【○はひとつだけ】

0. 0期
1. I期 (1期)
2. II期 (2期)
3. III期 (3期)
4. IV期 (4期)
5. わからない

(質問9) 診断された時のがんの転移の有無をお答えください。【○はひとつだけ】

1. 転移 あり
2. 転移 なし
3. わからない

(質問10) がんの再発の有無をお答えください。【○はひとつだけ】

1. 再発 あり
2. 再発 なし
3. わからない

(質問11) 現在のがんの治療状況を教えてください。【○はひとつだけ】

1. 治療開始前
2. 治療中
3. 治療が終わり経過観察や定期検査で通院している
4. 通院も終了している

(質問12) がんと診断されてからこれまで受けたがん治療を教えてください。
【○はいくつでも】

1. 手術
2. 内視鏡治療
3. 化学療法(抗がん剤/分子標的薬)
4. ホルモン療法
5. 放射線治療
6. 治療をしていない
7. わからない

(質問13) がんと診断された時から、治療について納得した医療を受けていますか。【○はひとつだけ】

1. 納得した医療を受けている
2. 納得した医療は受けていない
3. わからない

(質問14) がんと診断された時から、自分らしい日常が送れていますか。
【○はひとつだけ】

1. 自分らしい日常が送れており、満足している
2. 自分らしい日常が送れているが、満足していない
3. 自分らしい日常は送れていないが、満足している
4. 自分らしい日常を送れておらず、満足もしていない
5. わからない

(質問15) 診断や治療、支援の中で、あなたの望み(思い)にそった治療等を受けられましたか。【○はひとつだけ】

1. 望み(思い)にそった治療等を受けられた
2. 望み(思い)にそった治療等を受けられたが十分ではなかった
3. 望み(思い)にそった治療等を受けられなかった
4. 望み(思い)を伝えなかった
5. わからない

(質問16) 診断や治療方針について、医師等に分からなかった事等質問できましたか。
【○はひとつだけ】

1. よく分かったため、質問していない
2. 分からなかったので質問し、よく分かった
3. 分からなかったので質問したが、結局、分からなかった
4. 分からなかったが、質問できなかった
5. 説明を受けていない

※ 男性も女性もお答えください。

(質問17) 最初のがん治療が開始される前に、その治療による不妊への影響や妊孕性の温存(注参照)について、医師から説明を受けましたか。

【○はひとつだけ】

1. 説明を受けた
2. 説明はなかった
3. 不妊への影響についてのみ説明を受けた
4. 妊孕性の温存についてのみ説明を受けた
5. 不妊についての説明等必要なかった

(注) 妊孕性の温存とは病気(がん)に対する治療が始まる前に、受精卵や卵子・精子、場合により卵巣の組織を採取し、凍結保存することで、将来それを用いて妊娠・出産するというものです。

(質問18) 「がん治療」を決めるまでの間、医師、看護師、他のスタッフは、治療について、あなたが欲しいと思った情報を提供しましたか。

【○はひとつだけ】

1. 十分提供してくれた
2. 提供してくれたが不十分だった
3. 全くなかった
4. わからない

(質問19) がん治療が始まる前、治療中にほかの医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」(注参照)を受けられることについて担当医から説明はありましたか。

【○はひとつだけ】

1. 説明があり、セカンドオピニオンを受けた
2. 説明があったが、セカンドオピニオンを受けていない
3. 説明はなかったが、自分や家族からセカンドオピニオンについて質問し、セカンドオピニオンを受けた
4. 説明はなかった
5. わからない

(注) セカンドオピニオンとは診断や治療に関して、別の病院などで医師の意見を聞くことです。

(質問20) 治療前や治療時の心の状態やからだの痛み等の苦痛についてお聞かせください。

【○はいくつでも】

1. からだに苦痛や痛みがあった
2. 痛み以外にからだの症状(だるさや痒さなど)があった
3. こころが不安になったり、気持ちがつらいことがあった
4. 経済的なことや就労、学業、育児、介護のことなど、生活上の心配があった
5. 痛みや不安、心配はなかった
6. わからない

(質問21) 身体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフに相談できましたか。
【○はひとつだけ】

1. 医師や病院スタッフ等に相談できた
2. 医師や病院スタッフ等に相談できたが十分ではなかった
3. 医師や病院スタッフ等に相談できなかった
4. 痛みや落ち込みもなく相談する必要がなかった

(質問22) 身体や心の痛み、落ち込みのある時に医師等や病院スタッフが対応（緩和ケア（注参照））等をしてくれましたか。【○はひとつだけ】

1. 医師や病院スタッフ等が対応してくれた
2. 医師や病院スタッフ等が対応してくれたが十分ではなかった
2. 医師や病院スタッフ等は対応してくれなかった
3. 痛みや落ち込みもなく対応は必要がなかった

(注) 緩和ケアはがんが進行した時期だけでなく、がんが見つかったときから治療中も必要に応じて「つらさを和らげる」ために行われるものです。がんと診断されたときには、ひどく落ち込んだり、不安で眠れないこともあるかもしれません。治療の間には食欲がなくなったり、痛みが強いことがあるかもしれません。緩和ケアはこうしたつらい症状を緩和しながら日々の生活を送るため診療やサポートのことです。

(質問23) 安心して自宅で療養するために必要なことは、何だと思えますか。
【○はいくつでも】

1. 病院スタッフ、かかりつけ医、訪問看護師等が連携してケアする体制
2. 在宅患者の体調が悪化した場合に緊急入院できる体制
3. 在宅患者の体調が悪化した場合にすぐ訪問したり対応してくれる在宅医や訪問看護師の存在
4. 在宅療養に関して必要な情報の入手や相談できる体制
5. 家族の不安(心のケア)に対して相談できる体制
6. 家族の介護負担を軽減するため、患者が短期入院できる体制
7. 訪問看護の利用の拡大
8. 車いすやベッドなどの福祉用具の充実
9. わからない
10. その他()

(質問24) がん医療の情報やがんの療養情報を何から得ていますか。
【○はいくつでも】

1. テレビなどのメディア
2. インターネット
3. 新聞、書籍
4. 病院設置のパンフレット
5. 滋賀の療養情報(滋賀県作成の冊子)
6. 医師・看護師
7. 病院のがん相談窓口
8. ケアマネージャー等介護サービス事業者
9. 友人・知人
10. がん情報しが(滋賀県がん情報ポータルサイト)
11. がん患者力.com(滋賀県がん患者団体連絡協議会サイト)
12. 情報を得ていない
13. その他()

(質問25) あなたが知りたかったがんに関する情報や知っておきたかった情報の中で情報提供が十分ではないと思われる情報についてあてはまるものをお答えください。【○はいくつでも】

1. がんの治療方法（自身のがんに対してどのような治療方法があるか）について
2. 病院の診療体制や治療（どの病院でどのような治療をうけられるか）について
3. 緩和ケアについて
4. がん治療にかかる費用について
5. 経済的支援や利用できる社会保障制度など
6. 自宅での療養生活について
7. がん治療と仕事、学業との両立について
8. 副作用について
9. 脱毛などアピアランス（注参照）について
10. がんの病態や統計データ等
11. その他()

(注) アピアランスは「外見や人の容貌」を意味する言葉です。脱毛（頭髪、まつ毛等）、皮膚や爪の変色、変形、手術の傷の後など、治療によっておこる外見の変化に対して、患者の悩みに対処し、支援することを「アピアランスケア」と呼びます

(質問26) がん診療連携拠点病院等内に設置されている「がん相談支援センター」やがん診療連携支援病院に設置されている「がん相談窓口」等(注参照)を利用したことがありますか。【○はひとつだけ】

1. 利用したことがある
2. 利用したことがない
3. 知っているが、どこにあるかわからない
4. 知らない

(注)がん診療連携拠点病院等には、がんに関する相談や情報提供を行う相談窓口として「がん相談支援センター」が設置されており、誰でも無料でがんに関する相談・情報提供を受けられる。県内では、滋賀県立総合病院、滋賀医科大学医学部附属病院、大津赤十字病院、市立長浜病院、公立甲賀病院、彦根市立病院、高島市民病院に設置している。がん診療連携支援病院での相談窓口として、大津市民病院「患者総合支援センター患者相談支援室」、草津総合病院「患者サポートセンター」、済生会滋賀県病院「がん診療支援センター」、近江八幡市立総合医療センター「患者総合支援課」、長浜赤十字病院「がん相談窓口」、東近江総合医療センター「がん相談支援室」などの相談窓口を設置している。

(質問27) 「がん患者サロン」(注参照)(がん患者やその家族など、同じ立場の人が、がんのことを含めて気軽に語り合う交流の場)があることを知っていますか。【○はひとつだけ】

1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが、知っている
3. 知らない

(注)滋賀県内には滋賀県がん患者団体連絡協議会と各病院が協力して院内で開催している12カ所のがん患者サロンや、その他、患者団体等が開催しているがん患者の集まりなどがあります。滋賀県がん患者団体連絡協議会は以下のがん患者サロンを開催しています。
滋賀県立総合病院:「笑顔」、市立長浜病院:「きらめき長浜」、大津赤十字病院:「ながら一福」、滋賀医科大学医学部附属病院:「ゆらり」、彦根市立病院:「りらく彦根」、公立甲賀病院:「ゆかい(癒会)・こうが」、高島市民病院:「ほっと湖西」、近江八幡市立総合医療センター:「よしぶえ」、国立病院機構東近江総合医療センター:「むらさきの縁(えにし)」、市立大津市民病院:「なごみ」、大津赤十字病院:AYA世代の患者さんのサロン「F.M.AYA」、滋賀県立総合病院:再発・転移・ステージ4の患者さん・ご家族のサロン「こころ」

(質問28) がんと診断されたことによる心配や悩みは、何らかの支援によって軽減されたと思いますか。【○はいくつでも】

1. 医師や看護師、薬剤師の支援により軽減された
2. 相談支援センターの支援により軽減された
3. がん患者サロンに参加し軽減された
4. 患者団体など他の患者さんとの交流で軽減された
5. 家族や友人の支援により軽減された
6. そう思わない
7. わからない

(質問29) がんと最初に診断された時の、患者さんご本人の就労状況等について教えてください。【○はひとつだけ】

1. 正規の職員・従業員
2. パート・アルバイト(学生を除く)
3. 派遣社員・契約社員・嘱託
4. 自営業・家族従業員
5. 家事専業・家事手伝い
6. 無職
7. 学生
8. その他()

(質問30) がんと診断され、検査や治療が進む中、仕事(学業)の継続に対する事業主(学校)の理解・支援は得られましたか。【○はひとつだけ】

1. 得られた
2. 得られなかった
3. 理解・支援は必要なかった
4. 仕事(就学)はしていなかった

(質問31) がんで初めて治療・療養した時、一定期間(連続して3か月以上)仕事(学校)を休みましたか。【○はひとつだけ】

1. 休まなかった
2. 連続しない休み(1日や半日の休み等)以外休まなかった
3. 一定期間(連続して3か月以上)休んだ
4. 仕事(就学)はしていなかった

(質問32) がん治療・療養のための退職・廃業・退学の有無について教えてください。【○はひとつだけ】

1. 退職・廃業・退学をしていない(休職・休業中・休学を除く)
2. 退職・廃業・退学をしたが、現在は再就職・復業・開業・就学している
3. 退職・廃業・退学をして、現在も再就職・復業・開業・就学していない
4. 仕事はしていなかった

(質問33) 生活上の困難（経済的なこと、就労、就学のことなど）に関して情報提供や相談支援を受ける場合、どのような点について充実を望みますか。【○はいくつでも】

1. 医療機関における相談支援体制の充実
2. 職場（学校）における相談支援体制の充実
3. 行政機関(労働局や県など)による相談支援体制の充実
4. 行政機関が発信する情報提供サイトの充実
5. 行政機関が発行する情報冊子の充実
6. 特に、充実は望まない
7. 情報提供や相談支援を受ける必要はない
8. わからない

※ その他、ご意見、ご希望等がありましたら、（質問37）のご意見記入欄にご記入ください

(質問34) 県内の病院で実施している、がん患者を対象とした社会保険労務士による就労相談やハローワークによる個別相談会、両立支援促進員による個別相談会(注参照)を知っていますか。【○はひとつだけ】

1. 参加したことがある
2. 知っているが必要ではない
3. 知らない

(注) 「社会保険労務士による就労相談」滋賀県立総合病院、「ハローワークによる個別相談会」滋賀県立総合病院・市立長浜病院、「両立支援促進員による個別相談会」滋賀県立総合病院・市立長浜病院・彦根市立病院・大津赤十字病院・草津総合病院等で実施している。

(質問35) あなたは、「がん登録」(注参照)について知っていましたか。
【○はひとつだけ】

1. 知っている
2. 言葉だけは知っている
3. 知らない

(注) がん登録:全国がん登録:今後のがん検診やがん医療の評価に役立てるため、がん患者ひとりひとりの診断データや、その後の経過、生存状況について収集することを「がん登録」という。平成 28 年から全国すべての病院等からがん患者の情報を正確に登録する「全国がん登録」が始まった。

(質問36) がん対策について、滋賀県としてどういったことに力を入れてほしいと思いますか。
【○はいくつでも】

1. がん予防(たばこ対策などの生活習慣病対策も含む)
2. がんの早期発見(がん検診)
3. がん治療
4. がんに関する専門的医療従事者の育成
5. がん医療に関わる医療機関の整備(拠点病院の充実など)
6. がんに関する情報の提供
7. がんに関する相談やその支援
8. 緩和ケア
9. 在宅医療・在宅療養体制の充実
10. がん登録
11. がんによって就労が困難になった際の相談・支援体制の整備
12. 子どもに対する、がんに関する教育
13. 特にない

※ その他、ご意見、ご希望等がありましたら、(質問37)のご意見記入欄にご記入ください

(質問37) 医療機関や行政に対し、がん医療やがん対策に関して何かご意見があれば、自由にご記入ください。

○ 医療機関に対して

○ 行政に対して

調査にご協力いただきありがとうございました。

同封の返送用封筒に入れ、令和元年〇月〇日までにポストへ投函して下さい。

切手は不要です。

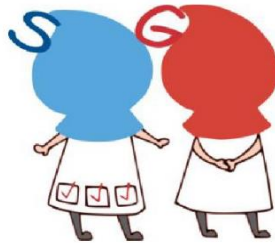
滋賀県がん患者団体連絡協議会 設立：2008年（平成20年）



平成19年4月施行の「がん対策基本法」の基本方針として、がん患者を含めた国民の視点に立ったがん対策の実施が謳われています。県内のがん患者、その家族、遺族の声を行政や医療現場に届ける為には、県内で活動している患者団体が一つにまとまる必要であると感じ、県下で活動しているがん患者団体3団体が「滋賀県がん患者団体連絡協議会」を発足させました。

現在は団体会員5団体と個人会員、賛助会員で活動しています。

ホームページ（滋賀がん患者力.COM）：<https://www.cancer-patients.shiga.jp/>



調査実施集計作業者

滋賀県がん患者団体連絡協議会

菊井 津多子

八木 政廣

天満 清央

柳田 英代

岩本 香奈

滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課

野坂 明子

滋賀医科大学社会学講座衛生学部門

准教授 埴田 和史